

NEWS Letter

Enjoy!! NOZOWA Life!!

KEN TIMES

2023年1月号

2023年も

よろしくお願いします!

水野尚哉 河野 謙



Contents

p06 / 今月のインタビュー

「フェイスファーム」の水野尚哉さんだぜい。



p02 / 日常、あれこれ

p14 / バックナンバー

p15 / プロフィール

p16 / お客さまの声



表紙の写真について



「人生で一番いい写真が撮れた！」と密かに自負しております。生粋の野沢っ子が野沢菜を齧りながら、何か深い思考の中にいる——。そんな瞬間を捉えました。

手前味噌ですが、なにが良いのかというと…彼の視線、手や足の置き場所、またそういった一丁前の仕草のくせに、着せられたカップには力かに書いてもらった「このよう」の文字。11月のお菜洗い中の一コマでした。



2023年、明けましておめでとうございます。

このKENTIMESが皆さまのお手元に届く頃…1月の下旬頃になっているでしょうか!?いつもカレンダーを使っていたいている皆さま、今頃になってしまって大変すみません!…2022年を最後まで楽しみすぎました。しかし、この新年の清々しい感じ、何回味无穷でも堪りません。特に、元旦の朝の空気は特別な感じがしますよね。

せっかくですので、2022年は自分にとってどうだったのか…と、これを書きながら写真で振り返ってみましたところ。非常に自分らしく楽しめた気がしています。

生活においての特に大きな変化はありませんでした。
(ノ)

(ノ)「春の欲望」と題した諸々のことは、半分ぐらいはやれたかな、という感じです。家族キャンプ、ゴルフ、バイク、ですね。(今年はキャンプを春からもっと飛ばしていきたい!と思います)そんな昨年のことを振り返りながら、何が自分や家族にとって幸せなのかを考えてみたところ…「目の前のことに没頭できているかどうか」これに尽きるのですね。師匠からの手紙でそれに気づきました。仕事にしても、遊びにしても、今、その瞬間に没頭しているという状態こそが、幸せということのようです。

自分のやるべきこと、やりたいことは何なのか?しっかりと自分の心に耳を傾け、幸福な2023年にしたいと思います。どうか皆さまも。2023年、改めましてよろしくお願いいたします!



みんな元気です!

相変わらず、家族全員揃った写真は滅多に撮らない(撮れない)ものなんですよ〜。

この写真は、茶臼山動物園の帰りに見つけたパン屋さんに寄って、その裏に大きい公園を見つけたから、そこで食べよう!となった時の写真です。この時の風がすごく心地よかったのを覚えています。

「子どもの小さい時なんて一瞬しかないから、貴重だよ〜」というアドバイスを先輩方にいただくことがあります。確かにその通りだ、と僕もいつも思います。

「かりけの」実現



ひよんなことから、わりと異色組み合わせの同級生3人(今はそれぞれ野沢、木島平、中野に住んでいる)でキャンプをしよう!という話になりました。

秋も終わりが近づく寒い頃に。あれこれと準備の話をするのも面倒なので(笑)、「ソロキャンプを3人で集まってやろう!」というスタイルです。

しかしこれは名案。非常に気楽に、快適に、各々缶ビールを飲みながら「そのアイテム、めっちゃいいね!」などと話しながら始まるわけです。…僕の記憶

に残っているのはその辺りまででしょうか笑。それはそれは美味しい空気の中、同級生と酒を飲むわけですから。

気がつくと朝でしたが、どうやら二人に寝床のセットまでしてもらって、そこに担ぎ込まれたようです。同級生の二人がせつせと僕を運んでいる姿を想像すると、思わずニヤけてしまいます。二人ともありがとう!

ところで、タイトルの「かりけの」って?という話ですが、小学校の頃によく遊んでいた4人で、「将来、カナダのとある森の中にログハウスを建てて暮らす」という計画があったのです。その4人の頭文字を取って「かりけの」です。4人で画用紙にログ

ハウスの絵や生活の様子を描いていたのを覚えています。…一人は先に天国へと旅立ったのですが、酒好きの彼でしたから、その日は当然、彼も一緒に好きなように酒を飲み、どうでもいい話を笑いながらしていたことでしょう。

当時から四半世紀ほど経った今。車のペイント、お寺、それから僕と、みんなそれぞれの道に進み、それぞれの生活を楽しんでいます。(このタイピングをしながら、スタンド・バイ・ミーの最後のシーンを思い出しました)…人生は美しい。



安土桃山ロマン



皆さん、昨年11月8日の皆既月食&天王星食は見ましたか？我が家は、ほぼ当日まで全く持って無関心でしたが、夕飯時に子どもにそれを伝え、予想どおり大騒ぎとなり、みんなで外へ飛び出て行きました。ちょうど運よく、雲の切れ間から少し欠け始めた月を目撃することが出来ました。

その日の昼間に運転をしながらラジオを聞いていると「今回は今から442年前の安土桃山時代…当時の人々は、現代と違って毎晩月を見ていたことでしょうか、その月がいつもと違う、赤銅色に欠けていく様子を見て、何か大変なことが起き始めている！と大事件だったのかもしれないね。」なんてコメントをしていました。

家の子どもの「え～、なんで次の時はトモカカもオレらもみんな生きてないの？悲しい…」確かそんなことを言っていました。ともあれ、そうやって月を観ながら意識のタイムトリップをするのは、なんともロマンチックです。442年後の技術だったら…例えば、僕らの「会話」とか「考えたこと」とか形の無いものにも追跡することって出来るのかな…？僕はそんなことを考えていました。ところで皆さんは、442年前と442年後でしたら…どちらに行きたいですか？



あの日のヒデキさんのように

今シーズンからJr.Jr.のコーチをさせていただくことになりました。楽ではないのはもちろんわかっていますが…自分も小さい頃に見てもらって楽しくスキーが出来たからなあ。というのが1番の理由です。僕らのJr.Jr.時代の思い出といえば、なんと言っても「ヒデキさん」。野沢のスキー場の至る所を滑りまくり、ジャンプ出来るポイントを見つけては、みんなで連なってヒデキさんに続きま

した。両スキーの先端を斜め下に向け、膝を折り曲げる「ヒデキスペシャル」はみんなの憧れで、よく真似していたものです。写真は、とある夏の日に秘密の特訓をもらった時のもの。……僕もあの日のヒデキさんのようになれると良いなあ。



立命スキー部、ゴルフ合宿！

場所は「立山」から「軽井沢」に、種目は「スキー」から「ゴルフ」に変わり、十数年ぶりのメンバーで合宿を行いました。いつの時代も合宿は楽しいものです。

Facebookなどで「ゴルフやってます」投稿していると、学生時代の先輩や友達とも、またこうして「遊ぼう！」ということになります。それがゴルフの最大の魅力かもしれません。

最高のメンバー、最高のコース、最高のお酒。そして、狩猟が趣味である石川の先輩が持ってきてくれた「熊刺し」には言葉を失いました。ちょっと抵抗のある方もいるのかもしれませんが、僕は未だかつて、あんなに美味しい生肉を食べてことがありません。



例えるなら、胡桃のような味にも感じました。他にも鹿や猪にと、贅沢すぎるジビエを肴に宴を楽しみました（不思議なもので、ジビエと一緒にお酒を飲んで二日酔いになったことはありません）。

今回集まっていた先輩・後輩、ありがとうございました！これは毎年恒例決定！そして何より、稲刈り真っ只中に行かせていただいた奥様、関係者の皆様、大変ありがとうございました！めちゃめちゃ楽しかったです！



やっぱり祭りはやらないきゃいけねんだよな！



特に野沢は祭りの村ですから。猿田彦に携わって、おそらく9年目を迎えました。少し規模は抑えてではありますが、今回のお祭りは、久しぶりに御神輿が担がれるのも見る事ができました。みんな、堰を切ったように楽しんでいたのではないのでしょうか。祭りをやる理由なんて、そもそも考える必要すらないのかもしれませんが…「邪気を払って、よい空気を取り入れる」ことに他なりません。こんな時こそ、祭りで村を、そして日本を盛り上げるべきですね。

昨年の猿田旅行は山梨県、石和温泉。ワインと温泉の地です。みんなで楽しみすぎたので、残っている写真はあまりありませんでしたが、僕は泊まった宿に飾ってあった一枚の写真が凄く印象に残っています。1961年(昭和36年)に、石和のぶどう園から高温の湯が湧き誕生した「青空温泉」の様子だそうです。男も女も関係なく、温泉発掘を心から喜んでいるのが伝わってきます。時代を越えて、見ているこちら側まで心が豊かになるような一枚でした。



河野 謙

Kono Ken



河野 謙 (こうのけん)

- 1987年7月10生まれ(卯年・かに座)
- ファイナンシャルプランナー
- 双子(弟は連)
- A型
- 三児の父(長男:2016.7/長女:2018.12/次男:2020.10)
- サイグラム/M10
- 動物占い/感情的なライオン・ゴールド
- 野沢温泉村在住
(横落のFujiyoshi. ずっと地元民)



【学 校】

- 野沢温泉小学校
- 野沢温泉中学校
- 飯山北高等学校
- 立命館大学
(経済学部・国際経済学科)
ずっとスキー部(アルペン)

【性 格】

楽観主義者。小さい時からそうだったわけではない。大学ぐらいから海外に行ったり、色んな友達と付き合う中でそうになっていったと思う。
判断は早い方。ただし、睡眠不足に陥るとあらゆる面でうまくいかなくなってしまう。仕事も遊びも、同じことを繰り返してその精度が上がっていくことに喜びを感じるタイプ。

遊びや日課

- スキー・スノーボード。
シーズン中は週2ぐらいのペース。
- サーフィン。直江津がメイン。
力強いハワイの波が忘れられない。
- 中学校の時は北竜湖でヘラブナを釣ることが何よりの楽しみだった。
現在は溪流釣り。
- ゴルフ(2020年からハマリ、2021年現在、100前後をウロチョロ。斑尾タングラムがメイン。)
- サウナ。ちょっと行かないと禁断症状が出る。
基本は木島平パノラマランド
- 飲酒はほぼ毎日。夕飯時には欠かせない。
(ビール、日本酒、ワイン、ウイスキー)
- 睡眠重視。少しでも眠気を感じたら、可能な限りどんなことよりも最優先してまずは眠る。
- 26歳から、お祭りで猿田彦の笛をやっている。
- 消防団員。第一分団第二動力班
- 2023年からスキーJr.Jr.コーチ



好きな作家

村上春樹、池波正太郎、浅田次郎、野田知佑、椎名誠、伊集院静など。特に村上春樹は相当の回数読んでいる作品が多い。

好きな音楽

特に好きなものは90年代日本語ラップ。
「BUDDHA BRAND」「キエるマキユウ」に関しては博士。ユーミン、Hi-Fi Set、ビートルズ他、ジャズもクラシックも好き。



BUDDHA BRAND

ランクル

ランクル80(1992)。妻はランクル60(1981)に乗ってます！二人とも、だいが愛着湧いてます。



仕事の変遷

スキーだけやっていた大学生活だったので、当時「こんな仕事かしたい！」というものがなく(スキーで稼いでいくほどの実力も自信もなかった)、4年のゴールデンウィーク頃から就活をスタート。

その頃、株やFXをやっていたということもあり「なんとなく金融が面白そうかな」という思いと、長野県出身のスキー部の先輩が、卒業後そこで活躍していることを知っていたので、地元の金融機関である「株式会社 長野銀行」に入行。

入行後一年は、掃除、雪かきの毎日。ちょっと退屈だったが、雪かきに関しては豪雪地帯・野沢温泉出身の実力をここぞとばかりに発揮し、銀行の敷地内だけでは物足りず、勝手に近所の商店の雪かきまでしていた。

そして楽しくお茶をいただき、預金までしてもらっていた。お客さんと心が通じる、「河野君だから」で任せてもらう。これが営業か……と、その時に思った。

2年目からは松本の支店で営業係。預金・住宅ローン・投資信託・保険を主に販売。最初はどのようにいいかわからず、お客さんの家でお茶をもらってばかりいたが、ある日突然自分の中で「何か」が解り、そこからは営業が楽しくて仕方なくなった。

お客さんは「その先に何を求めているか。」これが本質。

2014年(銀行4年目26歳の時)長野銀行出身の、尊敬する先輩に声をかけてもらったことがきっかけで、現在の会社に転職。ずっと地元だけで仕事ができる。本当に自分が好きで、お客さんにとって100%いいものだけを案内できるということが最大の魅力だった。

現在は「KEN TIMES」も発行。地元の事業主のインタビュー、お得な金融情報、日々の日記を掲載している。お客さん同士が繋がり、地元がどんどん盛り上がっていくことが何よりの喜び。

